

Readme

パート 1

まずはこのガイドを一読し成功への一歩を踏み出してください。

パスワードのリセット処理など、以下のすべての項目をよくお読みください。

パート 1 の目的は、z/OS にログオンしていくつかのタスクを完了させることです。

未経験の方でも大丈夫です。具体的にすべきことはガイドにて説明します。

ユーザーIDについて:

コンテスト参加者にはそれぞれ「Z」で始まるユーザーID が提供されます。コンテスト用ユーザー ID を入力すべき場所を、「Z#####」で示しています。

「Z#####」と書かれている部分には、**ご自身のユーザー ID を入力**してください。
例 - ユーザー ID が Z00001 の場合は、チャレンジの記入時に Z##### を Z00001 を入力してください。

コンテストに関するご質問

- コンテストに関するご質問は、専用チャンネル [コンテスト FAQ Slack Channel](#) にアクセスしてください。

パスワードとパスワードのリセット

- 初めてシステムにログオンすると、確認 メールで送信されたパスワードの入力を求められます。
システムは、ユーザーしか知らない新しいパスワードの入力を求めます。
システムは、確認のために新しいパスワードの再入力を求めます。
- ログオンを試した結果、次のメッセージが出される場合

```
IKJ56474I USERID OR PASSWORD IS INCORRECT OR NOT AUTHORIZED  
*****
```

少なくとも 3 回ログオンを試してください (**よくお読みください**)

システムはモニターされています。パスワード入力が 3 回失敗したことが検出されます。ログオンが 3 回失敗すると、パスワードは、確認メールで送信された初期パスワードにリセットされます。

パスワードのリセットには、最大 45 分かかります。

--コンテストの一週目は、45 分よりも速くリセットされます。

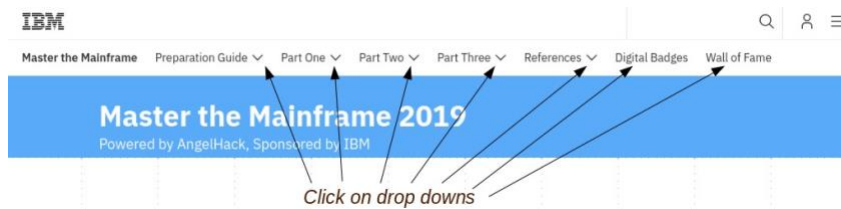
それでも、まだパスワードのリセットが必要な場合は、以下を行ってください。

-- コンテストの「Password Reset」 Slack チャンネルでパスワードのリセットを依頼します。

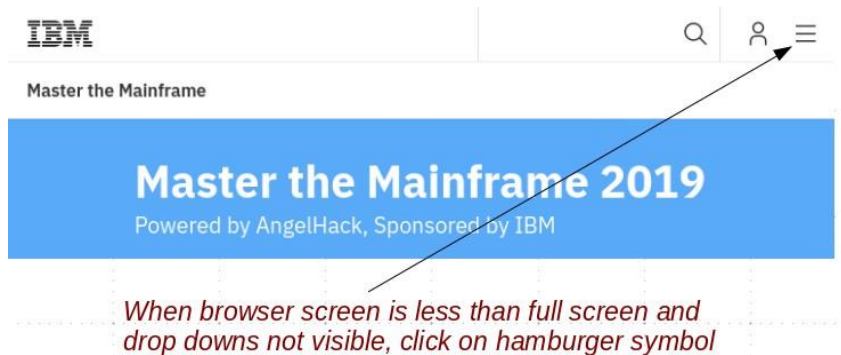
-- Slack チャンネルでパスワードのリセットを依頼する際には、必ずご自身の固有 ID を指定します。

Web ページ・ナビゲーション

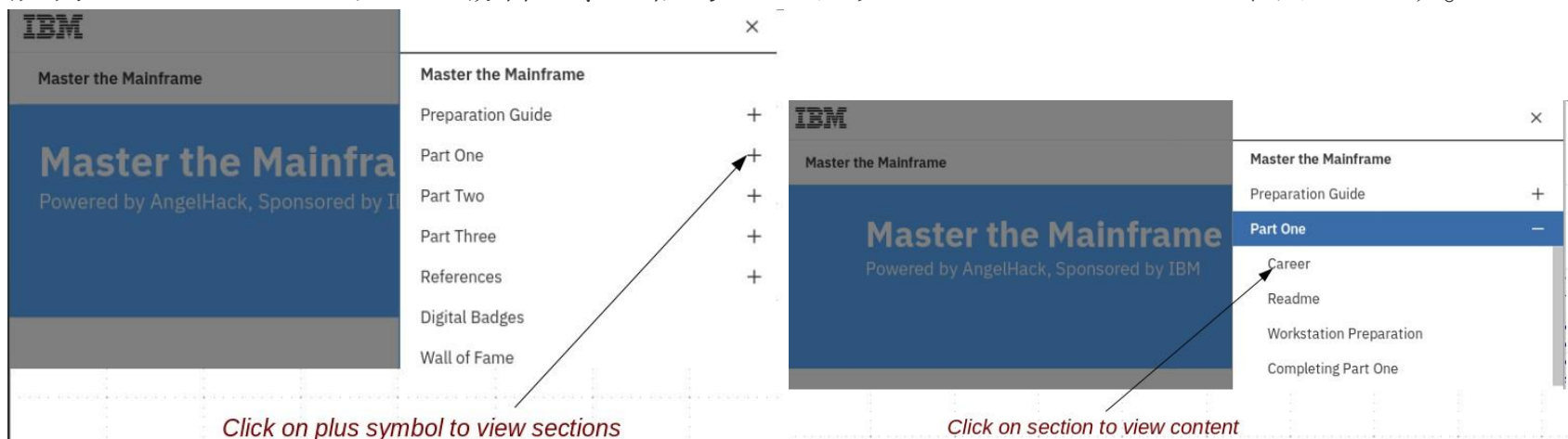
- 説明 Web ページが大きい場合、ドロップダウンが表示されます。



- 説明 Web ページが小さい場合、ドロップダウンは表示されない場合があります。



- 説明 Web ページが小さい場合は、+ 記号をクリックしてセクションを表示します。



ワークステーションの準備

パート 1

コンテストに参加するには、以下の 3 つのソフトウェアが必要です。

1. **Telnet 3270 エミュレーター (TN3270)** - z/OS TSO、ISPF、SDSF などの z/OS アプリケーションにアクセスするために必要です。
2. **SSH クライアント** - VT100 または VT220 の端末エミュレーションを使用して z/OS Unix System Services シェルにアクセスするために必要です。
3. **Web ブラウザー** - 最近の OS には全てインストールされているので既にお持ちと思います。

Windows、MAC、および Linux での **TN3270 エミュレーター**と **SSH クライアント**の設定方法は、次のページで説明されています。

z/OS へのログオン

パート 1 - チャレンジ #01

TN3270 を使用して z/OS TSO/ISPF にログオン

三角アイコンをクリックしてセクションを展開してください。

▼ 3270エミュレーター利用にあたっての前提条件

3270エミュレーター利用にあたっての前提条件

- ソフトウェアがインストール済みであること
- IP アドレス 192.86.32.91 に接続できること
- セッションが開始済みであること

エミュレーター利用の条件を満たしていない場合は、

メインフレーム・コンテストの**事前準備**ガイドの接続情報を参照ください。

- ▼ 説明に従って 3270 エミュレーター・ソフトウェアを使用して、タイム・シェアリング・オプション (TSO) 環境にログオンします。

270エミュレーターより IBM メインフレームへの接続が**成功**すると、以下の画面が表示されます。

下の画面が表示されない場合は、メインフレーム・コンテストの事前準備ガイド ドロップダウンを確認してください。

説明に従って 270エミュレーターを使って、タイム・シェアリング・オプション (TSO) 環境にログオンします。

カーソルは左下にあります。ユーザーID「Z#####」を入力し Enterキー(右下の Ctrl キー)を押してください。

** 「Z#####」をご自身のユーザーIDに変更することを忘れずに

Enter キーについて:

ほとんどの TN3270 エミュレーターは、**Enter キー**として右下にある **Ctrlキー**を使用しています。

TN3270 エミュレーターのデフォルト Enter キーを変更する場合、

- エミュレーター・ソフトウェアにはキーボード・マッピング機能があります。
キーボード・マッピングの変更手順については、該当する TN3270 エミュレーターのヘルプを参照してください。

TN3270 カラー:

TN3270 エミュレーターでは、前景色と背景色を変更することができます。

-(背景を白に、前景テキストを黒にするなど。)

カラーの変更手順については、該当する TN3270 エミュレーターのヘルプを参照してください。

Enterprise Computing
Enterprise Thinking

Local IP Address = 32.97.110.54
http://mtm2019.mybluemix.net

15th Annual Master the Mainframe Contest

```
          // 0000000 SSSSSS  
          // 00 00 SS  
zzzzzz // 00 00 SS  
  zz // 00 00 SSSS  
   zz // 00 00 SS  
  zz // 00 00 SS  
zzzzzz // 0000000 SSSSSS
```

IBM Z, The Next Generation

z/OS Runs the Economy of the World

==> Enter "logon" followed by the TSO userid. Example "logon userid" or
==> Enter TSO

logon z*****█

以前に確認メールで送信されたパスワードを入力します。

IKJ56476I ENTER PASSWORD:

*ほとんどの TN3270 エミュレーターでデフォルトの **Enter** キーである、右側にある **Ctrl** キーを押してください。

パスワードを正しく入力すると、次の画面が表示されます。

Enter (右側の **Ctrl**) を押して、次の画面に進みます。

```
----- TSO/E LOGON -----  
  
Enter LOGON parameters below:          RACF LOGON parameters:  
Userid  ==> Z*****  
  
Procedure ==> BPROC CG          New Password ==>  
Acct Nbr ==> FB3                          Group Ident  ==>  
Size     ==> 32768  
Perform  ==>  
Command  ==>  
  
Enter an 'S' before each option desired below:  
-Nomail      -Nonotice      S -Reconnect      -OIDcard  
  
PF1/PF13 ==> Help   PF3/PF15 ==> Logoff   PA1 ==> Attention   PA2 ==> Reshow  
You may request specific help information by entering a '?' in any entry field
```

パスワードの有効期限が切れていることを示すメッセージが表示されます。

-- 「New Password」入力フィールドに新しいパスワード(8文字以内)を入力し、次に進みます。

```

----- TSO/E LOGON -----
IKJ56415I CURRENT PASSWORD HAS EXPIRED - PLEASE ENTER NEW PASSWORD
IKJ56429A REENTER -
Enter LOGON parameters below:          RACF LOGON parameters:

Userid   ==> Z#####

                                           *New Password ==> 

Procedure ==> DBPROCCG                Group Ident ==>

Acct Nbr ==> FB3

Size     ==> 32768

Perform  ==>

Command  ==>

Enter an 'S' before each option desired below:
-Nomail   -Nonotice   S -Reconnect   -OIDcard

PF1/PF13 ==> Help   PF3/PF15 ==> Logoff   PA1 ==> Attention   PA2 ==> Reshow
You may request specific help information by entering a '?' in any entry field

```

下記の強調表示されている規則に従って新しいパスワードを設定してください。

--画面に表示される指示をよく確認ください

-- z/OS では新しいパスワードは2回入力する必要があります

-- インプットした文字は**画面には表示されません**。

パスワード設定条件:

- 長さは8文字以内であること。
- ***注:** 選択した直近の3つのパスワードは使用できません。

もし、権限エラーが発生したら、パスワードが正しく入力されていることを確認してください

入りに失敗すると、条件を満たす正しいパスワードを入力するまで、再入力を求められます。

「***New Password ==>**」データ入力フィールドにカーソルがあります。

```

----- TSO/E LOGON -----
IKJ56447A Reenter the new password in the NEW PASSWORD field for verification
Enter LOGON parameters below:          RACF LOGON parameters:

Userid   ==> Z#####

                                           *New Password ==> 

Procedure ==> DBPROCCG                Group Ident ==>

Acct Nbr ==> FB3

Size     ==> 32768

Perform  ==>

Command  ==>

Enter an 'S' before each option desired below:
-Nomail   -Nonotice   S -Reconnect   -OIDcard

PF1/PF13 ==> Help   PF3/PF15 ==> Logoff   PA1 ==> Attention   PA2 ==> Reshow
You may request specific help information by entering a '?' in any entry field

```

確認のため、「NEW PASSWORD」フィールドに新しいパスワードを再入力してください。


```

Menu Utilities Compilers Options Status Help
-----
ISPF Primary Option Menu
Option ==>
0 Settings      Terminal and user parameters      User ID . : Z#####
1 View         Display source data or listings    Time. . . : 10:10
2 Edit         Create or change source data       Terminal. : 3278
3 Utilities    Perform utility functions          Screen. . : 1
4 Foreground   Interactive language processing    Language. : ENGLISH
5 Batch        Submit job for language processing  Appl ID . : ISR
6 Command      Enter TSO or Workstation commands  TSO logon: DBPROCCG
7 Dialog Test  Perform dialog testing             TSO prefix: Z#####
8 LM Facility  Library administrator functions    System ID : S0W1
9 IBM Products IBM program development products  MVS acct. : FB3
10 SCLM        SW Configuration Library Manager  Release . : ISPF 7.3
11 Workplace   ISPF Object/Action Workplace

----- Other Functions -----
SD SDSF       View output
U Unix        Unix Shell Prompt
UF Unix Files  Unix Services
D2 DB2I       DB2 Interactive functions
DM DB2ADM     DB2 Administration
F File Manager File Manager for z/OS
IS ISMF       Disk Storage Management
SM SMP/E      Software Installation and Management
IP IPCS       Debug System Dumps and Traces
HC HCD        System Device Management
FD FM/DB2     File Manager/DB2
FI FM/IMS     File Manager/IMS

Enter X to Terminate using log/list defaults

F1=Help      F2=Split      F3=Exit      F7=Backward  F8=Forward   F9=Swap
F10=Actions   F12=Cancel

```

▼ パート 1 データ・セットを割り当てるために JCL をサブミットします。

****タイピングを少なくするための:Cカット・アンド・ペーストを使用する - 説明から切り取って TN3270 に貼り付けます。**

下図を参考に `tso submit 'zos.public.jcl(part1)'` と入力してください。

```

Menu Utilities Compilers Options Status Help
-----
ISPF Primary Option Menu
Option ==> tso submit 'zos.public.jcl(part1)'
```

ENTER JOBNAME CHARACTER(S) が表示されたら **a** を入力してください。

```

ENTER JOBNAME CHARACTER(S) -
a
JOB Z#####A(JOB00731) SUBMITTED
***
```

*** の表示は Enter キーが押されることを待っています。

```

10.14.32 JOB00731 #HASP165 Z#####A ENDED AT SVSCJES2 MAXCC=0000 CH(INTERNAL)
***
```

▼ パート 1 データ・セットデータ・セットが正常に割り当てられたことを確認してください。

ISPF 初期メニュー (ISPF Primary Option Menu) が表示されます。 **3.4** を入力して Enter キーを押してください。

```

Menu Utilities Compilers Options Status Help
-----
ISPF Primary Option Menu
Option ==> 3.4
```

ISPF データ・セット・リスト・ユーティリティ (Data Set List Utility) 画面が表示されます。

「Dsname」 フィールドにご自身のユーザー ID を入力し、Enter キーを押してください。

** **z#####** はご自身の ID を入力してください。

```
Menu RefList RefMode Utilities Help
-----
Data Set List Utility
Option ==>
blank Display data set list          P Print data set list
  V Display VTDC information          PV Print VTDC information
Enter one or both of the parameters below:
Dsname Level . . . z#####
Volume serial . . .
```

入力したユーザーIDに一致したデータ・セットが表示されます。

```
Menu Options View Utilities Compilers Help
-----
DSLIST - Data Sets Matching Z#####          Row 1 of 5
Command ==>                               Scroll ==> PAGE
Command - Enter "/" to select action      Message          Volume
-----
Z#####                                  *ALIAS
Z#####.PDS.DATA                         MTM001
Z#####.SEQ.DATA                         MTM002
Z#####.SOW1.ISPF.ISPPROF                 MTM003
Z#####.SOW1.SPFL0G1.LIST                 VPRKRC
***** End of Data Set List *****
```

▼ ISPF で、Unix ファイルパスとファイルを確認しましょう。

z/OS は、データを UNIX ファイルとデータ・セットの両方に保管します。

UNIX ファイルとデータ・セットの違いは、コンテストの中で学習します。ここでは、技術的な説明を少し行います。

当面の目標はハンズオンで直接システムに触れ、それを繰り返すことです。その後に技術的な説明が続きます。

前画面に戻るためには、F3 を押すか、exit キーを押しましょう。

Data Set List Utility パネルで、「Dsname Level」入力フィールドに**タブ**で移動し、ご自身の ID を **/z/z#####** に入力してください。

(##### はご自身のユーザーID に変更する必要があります)

注意： Unix ファイル名は大文字と小文字が区別されます

```
Menu RefList RefMode Utilities Help
-----
Data Set List Utility
Option ==>
blank Display data set list          P Print data set list
  V Display VTDC information          PV Print VTDC information
Enter one or both of the parameters below:
Dsname Level . . . /z/z#####
Volume serial . . .
```

ファイルが置かれていないパス **/z/z####** に対する z/OS Unix ディレクトリリストが表示されます。パート 1を進める中であなたのディレクトリに UNIX ファイルが生成されます。

```
Menu Utilities View Options Help
-----
z/OS UNIX Directory List          Row 1 to 2 of 2
Command ==>                       Scroll ==> PAGE
Time zone CST6CDT is used to calculate the displayed date and time values.
Pathname . . : /z/z#####
EUID . . . : 990009
Command  Filename          Message          Type Permission Audit Ext Fmat
-----
. . . . .                Dir  rwxr-xr-x  fff---  ----
. . . . .                Dir  rwxr-xr-x  fff---  ----
***** Bottom of data *****
```

ISPF 初期メニューに戻るにはコマンドに **return** を入力してください。

```
Menu Utilities View Options Help
z/OS UNIX Directory List
Command ==> return
```

▼ Unix ファイルのコピーをデータ・セットに作成します。Option

コマンドに **u** を入力します。

```
Menu Utilities Compilers Options Status Help
-----
ISPF Primary Option Menu
Option ==> u
0 Settings Terminal and user parameters
1 View Display source data or listings
2 Edit Create or change source data
3 Utilities Perform utility functions
4 Foreground Interactive language processing
5 Batch Submit job for language processing
6 Command Enter TSO or Workstation commands
7 Dialog Test Perform dialog testing
8 LM Facility Library administrator functions
9 IBM Products IBM program development products
10 SCLM SW Configuration Library Manager
11 Workplace ISPF Object/Action Workplace

----- Other Functions -----
SD SDSF View output
U Unix Unix Shell Prompt
```

z/OS UNIX のシェル・プロンプトが表示されます。

次のように、**date** と入力してください。

```
IBM
Licensed Material - Property of IBM
5650-ZOS Copyright IBM Corp. 1993, 2017
(C) Copyright Mortice Kern Systems, Inc., 1985, 1996.
(C) Copyright Software Development Group, University of Waterloo, 1989.

U.S. Government Users Restricted Rights -
Use, duplication or disclosure restricted by
GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.

IBM is a registered trademark of the IBM Corp.

/z/z#### >
```

```
==> date
RUNNING
ESC=^ 1=Help 2=SubCmd 3=HlpRetrn 4=Top 5=Bottom 6=TSO
7=BackScr 8=Scroll 9=NextSess 10=Refresh 11=FwdRetr 12=Retrieve
```

UNIX コマンド **date** の出力が表示されるので、

date > p1 と入力して、date コマンド出力の結果がファイル名 p1 にリダイレクトされます。

```
IBM
Licensed Material - Property of IBM
5650-Z0S Copyright IBM Corp. 1993, 2017
(C) Copyright Mortice Kern Systems, Inc., 1985, 1996.
(C) Copyright Software Development Group, University of Waterloo, 1989.
```

```
U.S. Government Users Restricted Rights -
Use, duplication or disclosure restricted by
GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.
```

```
IBM is a registered trademark of the IBM Corp.
```

```
/z/z#### > date
Mon Jun  3 09:31:15 CDT 2019
/z/z#### >
```

```
====> date > p1
RUNNING
ESC=^ 1=Help 2=SubCmd 3=HlpRetrn 4=Top 5=Bottom 6=TSO
7=BackScr 8=Scroll 9=NextSess 10=Refresh 11=FwdRetr 12=Retrieve
```

cat p1 と入力して、UNIX ファイル **p1** の出力結果をディスプレイに表示します。

```
IBM
Licensed Material - Property of IBM
5650-Z0S Copyright IBM Corp. 1993, 2017
(C) Copyright Mortice Kern Systems, Inc., 1985, 1996.
(C) Copyright Software Development Group, University of Waterloo, 1989.
```

```
U.S. Government Users Restricted Rights -
Use, duplication or disclosure restricted by
GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.
```

```
IBM is a registered trademark of the IBM Corp.
```

```
/z/z#### > date
Mon Jun  3 09:31:15 CDT 2019
/z/z#### > date > p1
/z/z#### >
```

```
====> cat p1
INPUT
ESC=^ 1=Help 2=SubCmd 3=HlpRetrn 4=Top 5=Bottom 6=TSO
7=BackScr 8=Scroll 9=NextSess 10=Refresh 11=FwdRetr 12=Retrieve
```

date 出力結果からなる UNIX ファイル **p1** がディスプレイに表示します。

Unix ファイル **p1** を区分データセット (partitioned data set) **pds.data** のメンバー **p1** として

unix の **cp** コマンドを使ってコピーします。

cp p1 '//pds.data(p1)' と入力してください。

IBM
Licensed Material - Property of IBM
5650-ZOS Copyright IBM Corp. 1993, 2017
(C) Copyright Mortice Kern Systems, Inc., 1985, 1996.
(C) Copyright Software Development Group, University of Waterloo, 1989.

U.S. Government Users Restricted Rights -
Use, duplication or disclosure restricted by
GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.

IBM is a registered trademark of the IBM Corp.

```
/z/z##### > date  
Mon Jun 3 09:31:15 CDT 2019  
/z/z##### > date > p1  
/z/z##### > cat p1  
Mon Jun 3 09:31:41 CDT 2019  
/z/z##### >
```

```
==> cp p1 `//pds.data(p1)`
```

```
INPUT  
ESC=^ 1=Help 2=SubCmd 3=HlpRetrn 4=Top 5=Bottom 6=TSO  
7=BackScr 8=Scroll 9=NextSess 10=Refresh 11=FwdRetr 12=Retrieve
```

`cat '//pds.data(p1)'` と入力して、区分データ・セット **pds.data** (メンバー名 **p1**)

の出力結果をディスプレイに表示します。

IBM
Licensed Material - Property of IBM
5650-ZOS Copyright IBM Corp. 1993, 2017
(C) Copyright Mortice Kern Systems, Inc., 1985, 1996.
(C) Copyright Software Development Group, University of Waterloo, 1989.

U.S. Government Users Restricted Rights -
Use, duplication or disclosure restricted by
GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.

IBM is a registered trademark of the IBM Corp.

```
/z/z##### > date  
Mon Jun 3 09:31:15 CDT 2019  
/z/z##### > date > p1  
/z/z##### > cat p1  
Mon Jun 3 09:31:41 CDT 2019  
/z/z##### > cp p1 `//pds.data(p1)`  
/z/z##### >
```

```
==> cat `//pds.data(p1)`
```

```
INPUT  
ESC=^ 1=Help 2=SubCmd 3=HlpRetrn 4=Top 5=Bottom 6=TSO  
7=BackScr 8=Scroll 9=NextSess 10=Refresh 11=FwdRetr 12=Retrieve
```

データ・セット名 **pds.data** メンバー名 **p1** をディスプレイに表示します。

/OS UNIX シェル・セッションを終了するには **exit** を入力してください。

IBM
Licensed Material - Property of IBM
5650-ZOS Copyright IBM Corp. 1993, 2017
(C) Copyright Mortice Kern Systems, Inc., 1985, 1996.
(C) Copyright Software Development Group, University of Waterloo, 1989.

U.S. Government Users Restricted Rights -
Use, duplication or disclosure restricted by
GSA ADP Schedule Contract with IBM Corp.

IBM is a registered trademark of the IBM Corp.

```
/z/z#### > date  
Mon Jun 3 09:31:15 CDT 2019  
/z/z#### > date > p1  
/z/z#### > cat p1  
Mon Jun 3 09:31:41 CDT 2019  
/z/z#### > cp p1 `//pds.data(p1)`  
/z/z#### > cat `//pds.data(p1)`  
Mon Jun 3 09:31:41 CDT 2019  
/z/z#### >
```

==> exit

INPUT

ESC=^ 1=Help 2=SubCmd 3=HlpRetrn 4=Top 5=Bottom 6=TSO
7=BackScr 8=Scroll 9=NextSess 10=Refresh 11=FwdRetr 12=Retrieve

>>> FSUM2331 The session has ended. Press <Enter> to end OMVS.

セッション終了メッセージが表示されます。Enter キーを押してください。

ISPF Primary Option Menu 画面で **3.4** を入力して Enter キーを押してください。

```
ISPF Primary Option Menu  
Option ==> 3.4
```

ISPF データ・セット・リスト・ユーティリティ (Data Set List Utility) 画面が再度表示されます。「Dsname Level」フィールドに**ご自身のユーザーID**を入力し、Enter キーを押してください。

```
Data Set List Utility  
Option ==> _____  
blank Display data set list          P Print data set list  
V Display VTDC information          PV Print VTDC information  
Enter one or both of the parameters below:  
Dsname Level . . . z####  
Volume serial . . . _____
```

下図のように **Command ==>**行および **Command** 列があることを確認してください。

Command 行と Command 列の両方にコマンドを入力できます。

Z#####.PDS.DATAの左にタブを移動し、下のように **Command** 列に **e** を入力してください。

```
DSLIST - Data Sets Matching Z##### Row 1 of 5  
Command ==> _____ Scroll ==> PAGE  
Command - Enter "/" to select action Message Volume  
-----  
e Z##### *ALIAS  
Z#####.PDS.DATA MTM002  
Z#####.SEQ.DATA MTM004  
Z#####.SPFLOG1.LIST VPRKB  
Z#####.SOW1.ISPF.ISPPROF MTM003  
***** End of Data Set List *****
```

下図のように左上に **EDIT** と表示され、**Z#####.PDS.DATA** の EDIT モードになります。

データセットメンバー **P1** の左にタブを移動させて **s** を入力し **P1** を選択してください。

```
EDIT          Z#####.PDS.DATA
Command ==>
-----
Name          Prompt          Size
-----
BINARY
COUNTRY
FUN
P1
Z
**End**
```

表示されたのはデータセット **Z#####.PDS.DATA** のメンバー **P1** の内容です。

return と入力して ISPF 編集を終了し、ISPF Primary Option Menu に戻ります。

```
File Edit Edit_Settings Menu Utilities Compilers Test Help
EDIT          Z#####.PDS.DATA(P1) - 01.00          Columns 00001 00072
Command ==> return                               Scroll ==> PAGE
***** ***** Top of Data *****
==MSG> -Warning- The UNDO command is not available until you change
==MSG>          your edit profile using the command RECOVERY ON.
000001 Mon Jun  3 09:31:41 CDT 2019
***** ***** Bottom of Data *****
```

▼ パート 1 を完了するための処理を実行します。

ISPF Primary Option Menu から **tso scorep1** と入力します。

```
-----
ISPF Primary Option Menu
Option ==> tso scorep1
-----
0 Settings      Terminal and user parameters
1 View          Display source data or listings
2 Edit          Create or change source data
3 Utilities     Perform utility functions
```

「**パート 1 が正常に完了しました (You have successfully completed Part 1)**」

というメッセージが表示されます。

***の後で Enter キーを押してください。

```
You have successfully completed Part 1
***
```

▼ ISPF セッションを終了し、TSO / TN3270 からログオフする方法

ISPF セッションを終了し、TSO をログオフするためには、

ISPF **Primary Option Menu** にて、**x** を入力し、ISPF セッションを終了させてください。

```
Menu Utilities Compilers Options Status Help
ISPF Primary Option Menu
Option ==> x
0 Settings Terminal and user parameters User ID . : Z####
1 View Display source data or listings Time . . : 10:35
2 Edit Create or change source data Terminal . : 3278
3 Utilities Perform utility functions Screen . . : 1
4 Foreground Interactive language processing Language . : ENGLISH
5 Batch Submit job for language processing Appl ID . : ISR
6 Command Enter TSO or Workstation commands TSO logon : DBPROCCG
7 Dialog Test Perform dialog testing TSO prefix: Z####
8 LM Facility Library administrator functions System ID : S0W1
9 IBM Products IBM program development products MVS acct. : FB3
10 SCLM SW Configuration Library Manager Release . : ISPF 7.3
11 Workplace ISPF Object/Action Workplace

----- Other Functions -----
SD SDSF View output
U Unix Unix Shell Prompt
UF Unix Files Unix Services
D2 DB2I DB2 Interactive functions
DM DB2ADM DB2 Administration
F File Manager File Manager for z/OS
IS ISMF Disk Storage Management
SM SMP/E Software Installation and Management
IP IPCS Debug System Dumps and Traces
HC HCD System Device Management
FD FM/DB2 File Manager/DB2
FI FM/IMS File Manager/IMS

Enter X to Terminate using log/list defaults
```

もし **Specify Disposition of Log Data Set** パネルが出た場合、
Process Option 2 を選択して出力せずにデータ・セットを削除してください。

```
Specify Disposition of Log Data Set
Command ==>
Log Data Set (Z####.SPFLOG1.LIST) Disposition:
Process Option . . . . 2 1. Print data set and delete
2. Delete data set without printing
3. Keep data set - Same
(allocate same data set in next session)
4. Keep data set - New
(allocate new data set in next session)
```

TSO の **'READY'** プロンプトが表示されます。

logoff と入力して TSO / TN3270 セッションを終了してください。

▼ パート 1 では専門用語とパート 2 で使用する基本要素を紹介しました。

- z/OS に接続する TN3270 エミュレーター
- z/OS タイム・シェアリング・オプション (TSO) へのログオン
- ISPF (Interactive System Productivity Facility: 対話式システム生産性向上機能) を操作するためのパネル型アプリケーション
- データ・セット名
- UNIX ファイルディレクトリとファイル名
- UNIX シェル・プロンプトのコマンドの実行
- 区分データ・セット・メンバーの編集
- ISPF セッションを終了して TSO cli の READY プロンプトに戻る
- TSO / TN3270 セッションのログオフ

z/OS と対話する方法は数多くありますが、3270 TSO/ISPF を学ぶことで他の web ベースの z/OS インターフェースの習熟にも役立ちます。

Master the Mainframe コンテストに参加することは、ご自身の経歴に有利になることがお分かりいただけると思います。

メインフレームでのハンズオンの経験により他の求職者に違いをつけることができます。雇用者はいつでも、メインフレームについて学習した若い人々に会うのを楽しみにしています。SNS にメッセージを投稿して、パート 1 を修了したことを誇らしくお友達に伝えましょう。



Like



Share

6,400 人が「いいね」をしています。何に「いいね」をしてくれたかを見るには[登録](#)してください。

お疲れさまでした。パート 2 のチャレンジ #01 があなたのクリックをお待ちしています。